

第 36 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議議事概要

開催日	平成 29 年 5 月 22 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
出席委員氏名	委員長 鈴木 幸弘（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 岩田 三代（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	3 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・岩田委員から、第 4 四半期の契約の状況を踏まえ、落札率 90% 超となった契約及び競争性のない随意契約について審議対象とした旨報告した。
（内訳）		
一般競争入札	2 件	
随意契約	1 件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	平成 28 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	平成 28 年度第 4 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】管理研修棟宿泊室電源増設工事</p> <ul style="list-style-type: none">・ 予定価格のための見積りは、入札資料を交付した者と同じか。・ 公告期間はどのように決めたのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 入札資料の交付前に見積りを依頼しているが、入札資料を交付した者と同じである。・ 以前に調達した同種の工事案件において複数者の参加があったことから、同程度の公告期間で複数者の参加が見込めると判断した。
<p>【事案2】通話録音システム機器一式の導入</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他者では作業はできないのか。・ 契約金額が妥当か判断するために、他者の見積徴取やヒアリングなどを行うことを検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none">・ 既存のシステムに対する作業のため、不具合などがあった場合に、責任の所在があいまいになること等から、他者での作業は困難である。・ 本件については他者からの正式な見積徴取は困難であったが、ヒアリングを実施して妥当性を検証した。今後も可能な範囲で参考になる価格を調査することとしたい。
<p>【事案3】航空券の手配</p> <ul style="list-style-type: none">・ 航空券は早い時期に調達をすれば、より低廉に入手できることも多いと考えられるので、可能な限り早期に調達手続を実施するようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・ ご意見を踏まえ、今後の調達の際には留意することとしたい。